会議概要 (速報)

件 名	令和7年度第1回 新潟市食育推進会議	
日 時	令和7年7月31日(木)午後2時~4時	
場所	ふるまち庁舎 401会議室	
出席者	委員	五十嵐委員、黒滝委員、斎藤委員、佐藤委員、竹内委員、武田委員、 廣川委員、松井委員、宮川委員、村井委員、村山委員 (欠席:和須津委員)
	事務局	【農林水産部】花田部長 【食と花の推進課】高山課長、木島課長補佐、井浦係長、春川主査、 遠藤主査、朝妻会計年度任用職員
	関係課等	保健所健康増進課、保健所食の安全推進課、教育委員会保健給食課、 こども未来部幼保支援課、環境部循環社会推進課、食育・花育センター
	1 開会	
概要	2 諮問	
	 3 議事 (1)食育推進計画の進捗状況と令和6年度活動状況報告【資料1】 ・第4次食育推進計画の概要について説明。 ・令和6年度活動状況報告について、食育推進施策実施状況報告書(資料1)の様式を変更し、主なターゲット層と数値的な目標や実績値を追加して作成したことを報告。 ・令和6年度食育推進施策実施状況報告書のうち、新規事業を抜粋して報告。 	
	【主なご意見・質問等】	
	・中学校での全員給食化に向けて、適切に運営・実施ができるようお願いしたい。	
	(2) 令和7年度食育関連事業について【資料2】 ・資料2に基づき、今年度実施事業について、新規の取組みや特徴的な取組みを抜粋 して報告。	
	 【主なご意見・質問等】 ・JAにおいて、地元の食材を使用した食育活動を実施している。 新潟県に住んでいる子どもたちにおいしいお米を食べてほしいという想いから、保育園児を対象とした「シャカシャカおにぎり」事業を実施している。 ・学校給食に使用しているお米が新潟市産であることを、子どもたちは知らないのではないか。積極的に発信していってほしい。 	
	・西区ではコシヒカリ給食が実施されている。お米の品種ごとに、良さがあると思うので、給食と絡めて子どもたちに伝えていけたらよいと思う。	

・JAや市にあるキャラクターは子どもを引き付ける力があるので、もっと活用して ほしい。

(3) 第5次食育推進計画の方針について【資料3~5】

- ・ 資料 3 に基づき、第 5 次新潟市食育推進計画の策定スケジュールについて説明。
- ・資料4に基づき、第4次新潟市食育推進計画の中間評価結果及び課題等について説 明。
- ・資料5に基づき、国の食育推進計画の方向性について説明。第5次食育推進計画の 方向性について、事務局案を説明。

【主なご意見・質問等】

■食文化について

- 「にいがたふうど」リーフレットは、県外向けとして良好な印象。
- ・若い世代における食文化継承が悪化傾向だが、若い世代は忙しく、郷土料理など時間のかかるものを作るのは難しいのでは。そのまま伝えるのではなく、時短でできる郷土料理など、今の時代に合った伝え方を考えられるとよいのでは。
- ・「大人の食育」に携わっているが、今が伝統食を伝えていくギリギリのところだと感じている。伝統食は、60 代以上のシニアしか伝えることができない。若い世代はコスパ・タイパ重視の傾向が強く、伝え方に工夫が必要。保育園や幼稚園との連携や、食生活改善推進員などの伝え手が活動できるよう、行政によるプラットフォーム整備が重要と考える。
- ・社会構造が「食」を圧迫させている。食文化の伝承も、昔は手伝いをすることで自然と身についていたし、文化として根付いていた。今はお父さんもお母さんも忙しくて手伝いをさせられない。講習会も大事だが、基本は家庭だと感じる。
- ・若い世代に食文化を伝えていくには学校給食をツールとして使うのがよいと考える。 地元の食材や郷土料理を伝えていくにはよいと思う。

■担い手について

- ・女性農業者グループが学校で活動したいと思っても、うまくつながることができない。 先進的な区の取り組みを、横展開することが望まれる。
- ・「なりわいの匠」から麹づくりを習って加工品に生かす活動を行っている。今のうちに習えるものを習いたい。麹づくりをそのまま継承するだけでなく、新商品に活かすことで、次世代につながっていくこともある。

■数値指標について

・数値評価について、母集団が毎年異なるため、調査結果を数値だけで判断しない視点が必要では。また、区別のデータもあるとより良いのでは。

■第5次計画の方向性について

・基本目標については、このまま引き継いでいくことに賛成。

	 ・第5次ということで、策定されてから長くなってきた。ある程度達成した項目は見直し・削除の勇気も必要では。 ・数値目標の評価は、厳しすぎず柔軟な視点を。 ・新潟は水産物が豊富であるにも関わらず、水産についての食育が薄い。水産物の食育も入れ込めると良いのでは。
	(4)その他・・・なし
	4 連絡事項
	5 閉会
傍聴	なし
報道	なし